

内装材(床・壁・天井) 繊細な木製品をより長く、より美しくご利用いただくための注意点

■汚れ・シミになりやすいもの

- シール・粘着テープ
はがす際は、湿気を当てるのは元々、やすくありません。接着剤が乾かないように、はがしてください。塗膜もはがれた場合は、塗装しなおしてください。
- ガム
水を当てて早く落とすのがおすすめです。塗膜もはがれた場合は、塗装しなおしてください。

■水こぼし・雨の吹き込み・結露

- 水こぼし・雨の吹き込み・結露
すぐに拭き取ってください。
- しょうゆ等の調味料・食べこぼし・油ハネ
すぐに拭き取り、汚れに浸した洗剤を含ませた布で拭き取ってください。
- 洗剤・灯油
すぐに拭き取り、薬剤が残らないように水をきかせた布で拭き取ってください。
- ペットの排泄物
すぐに拭き取り、洗剤を含ませた布で拭き取ってください。薬剤が残らないように拭き取ってください。
- タバコ・灰
床に落とさないでください。天井目撃した場合はサングラスなどで拭き取ってください。塗装しなおしてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすい環境

- 湿度の乾燥
湿度の低下は防湿剤に調整してください。
- 直射日光
カーテンやブラインドで遮ってください。
- エアコン・温風ヒーター
湿気を出し、壁が膨らみたりするように調整してください。
- ストーブ・パネルヒーター・暖炉
熱が直接壁をカーペット等で保護してください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすい環境

- 電気カーペット
床と電気カーペットとの間に敷物を敷いてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすいもの

- 砂・ほこり
こまめに掃除してください。塗装の塗り替えを定期的にしてください。
- ペットの爪
頻りに多く部分をカーペット等で覆ってください。塗装の塗り替えを定期的にしてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすいもの

- イソの脚
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 家電・電化製品
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 車椅子
外から押した際には車輪についていた砂を落とすようにしてください。
- キャスター
車輪に保護材をあててください。
- ピアノ・楽器・観葉植物・家具などの重負物
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 高脚椅子の金具
床にあたる部分をフェルト等で覆ってください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすいもの

- 水こぼし・雨の吹き込み・結露
すぐに拭き取ってください。
- しょうゆ等の調味料・食べこぼし・油ハネ
すぐに拭き取り、汚れに浸した洗剤を含ませた布で拭き取ってください。
- 洗剤・灯油
すぐに拭き取り、薬剤が残らないように水をきかせた布で拭き取ってください。
- ペットの排泄物
すぐに拭き取り、洗剤を含ませた布で拭き取ってください。薬剤が残らないように拭き取ってください。
- タバコ・灰
床に落とさないでください。天井目撃した場合はサングラスなどで拭き取ってください。塗装しなおしてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすい環境

- 湿度の乾燥
湿度の低下は防湿剤に調整してください。
- 直射日光
カーテンやブラインドで遮ってください。
- エアコン・温風ヒーター
湿気を出し、壁が膨らみたりするように調整してください。
- ストーブ・パネルヒーター・暖炉
熱が直接壁をカーペット等で保護してください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすい環境

- 電気カーペット
床と電気カーペットとの間に敷物を敷いてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすいもの

- 砂・ほこり
こまめに掃除してください。塗装の塗り替えを定期的にしてください。
- ペットの爪
頻りに多く部分をカーペット等で覆ってください。塗装の塗り替えを定期的にしてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすいもの

- イソの脚
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 家電・電化製品
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 車椅子
外から押した際には車輪についていた砂を落とすようにしてください。
- キャスター
車輪に保護材をあててください。
- ピアノ・楽器・観葉植物・家具などの重負物
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 高脚椅子の金具
床にあたる部分をフェルト等で覆ってください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすいもの

- 水こぼし・雨の吹き込み・結露
すぐに拭き取ってください。
- しょうゆ等の調味料・食べこぼし・油ハネ
すぐに拭き取り、汚れに浸した洗剤を含ませた布で拭き取ってください。
- 洗剤・灯油
すぐに拭き取り、薬剤が残らないように水をきかせた布で拭き取ってください。
- ペットの排泄物
すぐに拭き取り、洗剤を含ませた布で拭き取ってください。薬剤が残らないように拭き取ってください。
- タバコ・灰
床に落とさないでください。天井目撃した場合はサングラスなどで拭き取ってください。塗装しなおしてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすい環境

- 湿度の乾燥
湿度の低下は防湿剤に調整してください。
- 直射日光
カーテンやブラインドで遮ってください。
- エアコン・温風ヒーター
湿気を出し、壁が膨らみたりするように調整してください。
- ストーブ・パネルヒーター・暖炉
熱が直接壁をカーペット等で保護してください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすい環境

- 電気カーペット
床と電気カーペットとの間に敷物を敷いてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすいもの

- 砂・ほこり
こまめに掃除してください。塗装の塗り替えを定期的にしてください。
- ペットの爪
頻りに多く部分をカーペット等で覆ってください。塗装の塗り替えを定期的にしてください。

■ヒビ・割れ・すきま・反りができやすいもの

- イソの脚
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 家電・電化製品
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 車椅子
外から押した際には車輪についていた砂を落とすようにしてください。
- キャスター
車輪に保護材をあててください。
- ピアノ・楽器・観葉植物・家具などの重負物
床につく部分をフェルト等で覆ってください。
- 高脚椅子の金具
床にあたる部分をフェルト等で覆ってください。

こまめに換気してください。

化学物質は、建材以外にも家具・カーテン・カーペット・おもちゃ等のプラスチック製品・殺虫剤などの生活用品からも放散されます。



■当社免責事項は以下の通りです。

- 当社カタログ掲載の「安全上のご注意」記載事項に反して誤った取扱い(施工)に因って生じた損害。
- 本紙・当社ホームページ及び当社カタログ掲載の「安全上のご注意」「施工要領」「お手入れ方法」の記載事項に反した「取扱・施工方法・維持管理方法」に因って生じた損害。
- 商品引渡後(保管中・施工途中・施工後)の商品の割れ・ササクレ・欠け・反り・曲り・伸縮・カビ・ヤニ・洗・変色・退色・汚れ等と、これらが原因となって生じた損害。
- 商品引渡後(保管中・施工途中・施工後)、当社商品に他の製品から移った臭いや有害物質と、これらが原因となって生じた損害。
- 商品の経年変化による自然劣化(割れ・ササクレ・欠け・節抜け・伸縮・反り・曲り・変色・退色・汚れ・腐食等)と、これらが原因となって生じた損害。
- パテ・埋木処理した部分の経年変化による劣化(割れ・欠け・欠落等)と、これらが原因となって生じた損害。
- 表面浮造り加工商品のササクレ、凸凹・亀裂などと、これらが原因となって生じた損害。
- 特殊な環境(過乾燥・多湿・高温・低温・凍害・塩害等)に因って生じた損害。
- 商品が含有する匂いや成分が、人体に嫌悪感や体調不良等の影響を与えたこと因って生じた損害。
- 商品を二次加工(切断・切削・研磨・穴加工・薬剤注入・再度の人工乾燥等)したこと因って生じた損害。

- 商品を塗装したこと因って生じた損害。
- 犬・猫・ねずみ・鳥(特に、きつつき)等の動物や、虫などの行為に起因する商品の損害。
- 当社商品以外の部材の不具合が原因となって生じた損害。
- 建物自体の変形や劣化に因って生じた損害、並びに下地材の腐食・割れ・変形等に因って生じた損害。
- 当社商品施工完了後に行われた増改築工事・補修工事や付帯工事に因って生じた損害。
- 当社製品施工時に、実用化された技術では予測されることが不可能な現象に因って生じた損害。
- 不具合が発生した時点で、速やかに適切な処置を施さないこと因って生じた損害。
- 入居者・建物管理者、並びに第三者による不適切な使用、又は建物の維持管理不足や故意・過失に因って生じた損害。
- 地震・津波・台風・落雷・竜巻・水害・地盤変動・土砂崩れ・火事・爆発等の天変地異や災害に因って生じた損害。
- 当社が定める「取扱い・施工方法・お手入れ方法」を他社商品に流用したこと因って生じた損害。
- 運送業者による商品納期の遅延に因って生じた損害。
- その他、当社の責に因らず発生した損害。

木の風合いと美しさをより長く保つためには、普段からのちょっとした気配りとお手入れが大切です。日頃の生活やお掃除の中で、下記の点にご注意下さい。

日常のお掃除の方法は(床)

- 日常のお手入れは、乾いた布またはドライモップでカラ拭きしてください。水拭きは、反りやシミなどの原因になりますので、絶対に避けてください。汚れが目立つ場合は、固く絞った雑巾や中性洗剤を含ませた布で汚れを除去し、乾いた布で水分を速やかに拭き取り床表面を十分に乾燥させてください。化学雑巾やモップを保管する際は、直接床材の上に置かないでください。必ず保管ケースや用具入れに入れて保管してください。(長時間床材と接触していると変色する場合があります。)
- フローリングは、表面にホコリがたまったり、濡れたりすると滑りやすくなります。砂やホコリなどは表面を傷つける原因になりますのでこまめに掃除をしてください。
- 無塗装床材は、ご使用した塗料の推奨するお手入れをしてください。
- 塗装済み床材にワックスをかける場合の注意
FHK7-15(※1)カタログP.14掲載)のワックスは、水性ワックス(王マルジョン系木床用)をご使用ください。
塗装済み床材に油性ワックス(無塗装のフローリング用)や「白木用」ワックスはお使いにならないでください。ワックスは使用法を誤りますと、白くなったり、粉状になったりします。また、床材の反りやシミの原因にもなりますので、ワックスに添付された使用説明書をよく読み、それに従って作業してください。(詳細はワックスメーカーにお尋ねください)
なるべく天気の良い日に、換気をしながら作業をしてください。ワックスを塗る前に、掃除機などでホコリや糸くずなどをきれいに取り除き、固く絞った雑巾やモップできれいに拭き上げてください。床表面の水分が十分に乾いてからワックスの作業へ移ってください。
ワックスを床材に直接撒いたり、ピシヨピシヨにワックスを含ませたモップなどで塗布しないでください。ワックスの主原料は「水」で出来ていますので、多量に塗布すると反りやシミを作る原因となります。

食べこぼし・汚れ・落書きには

すぐに拭き取り、汚れの種類に合った市販の洗剤を染み込ませて硬くしぼった布で拭いてください。
*洗剤は使用方法を守ってお使いください。

最後にカラ拭きして水分や薬品が残らないようにしてください。無垢材は水分の吸収が早いので、すぐに拭き取っても必ずシミが残ります。気になる場合は表面をサンドペーパーでこすり取ってください。塗装してお使いの場合は、こすった部分に塗料を少しずつ塗って周囲となじませてください。
*塗装後の仕上げは均一にはなりませんのでご了承ください。

へこみには

へこんだ部分に水分を含ませた布を30秒程度当てておき、低温に熱したアイロンを当ててください。へこみ部分が膨らんできます。
*表面に塗膜を作る塗料をご使用の場合は、効果がでない場合があります。
*長時間アイロンを当てておきますと、焼け焦げや変色の原因となりますので、注意してください。

段差ができた場合はサンドペーパーで少しずつこすり取ってください。塗装してお使いの場合は、こすった部分に塗料を少しずつ塗って周囲となじませてください。
*塗装面の仕上げは均一にはなりませんのでご了承ください。

キズには

深いキズは、サンドペーパーで少しずつこすり取ると目立たなくなります。塗装してお使いの場合は、こすった部分に塗料を少しずつ塗って周囲となじませてください。
*塗装面の仕上げは均一にはなりませんのでご了承ください。

深いキズには、市販の補修用品を使用法に沿ってお使いください。

*へこみ・キズの状態、使用した塗料によっては、修復が難しい場合があります。ご了承ください。

パテ補修には



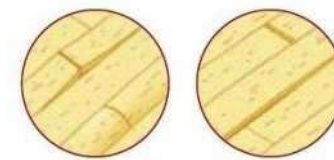
節の内装材・床材(FPK-15を除く)商品の欠節・抜節・割れ節の節状態によって、資材有効利用の観点からパテ補修をしておりますが、パテは環境・使用状況に因って、伸縮・パテ痩せが発生し、亀裂及び剥離・欠落する場合があります。再塗装の際は、パテ補修部分を点検し、不備なものは再度、パテ補修をしてください。又、新たに欠節・抜節・割れ節などが発生した場合や更に劣化した場合も、パテ補修をしてください。

ヒビ割れには



市販の補修用品を使用法に沿ってお使いください。

伸び・縮みには



湿度の多いときにできる「伸び」、乾燥したときにできる「縮み」

お部屋の湿度を50%前後に調整してください。木は、過度の乾燥状態では水分を放出して縮み、湿度過多の状態や水濡れを放置しておくと、水分を吸収し伸びて膨らみます。過乾燥・過湿状態が長く続いた場合は、伸び・縮みが戻らないことがあります。

製材・建材輸入販売
株式会社
スズキトレーディング
〒062-0034
札幌市豊平区西岡4条9丁目1-25
及川ビル・西岡Ⅱ 4F
TEL:011-836-5115 FAX:011-836-5005
e-mail:office@suzukitrading.com